

琵琶湖におけるブルーギルの食性について

立命館守山高等学校

目的と研究を始めたきっかけ

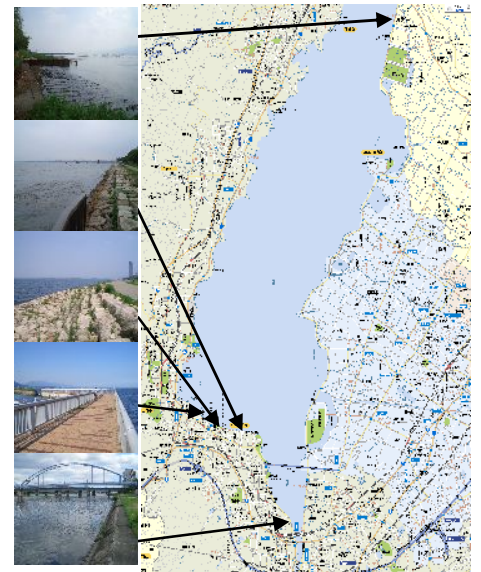
- 琵琶湖における外来魚の増加→滋賀県や諸団体が外来魚の駆除活動→外来魚の食性に偏りが見られるという報告

そこで…特に個体数の多いブルーギルの食性を中心とした生態の調査することに決めた。

調査項目

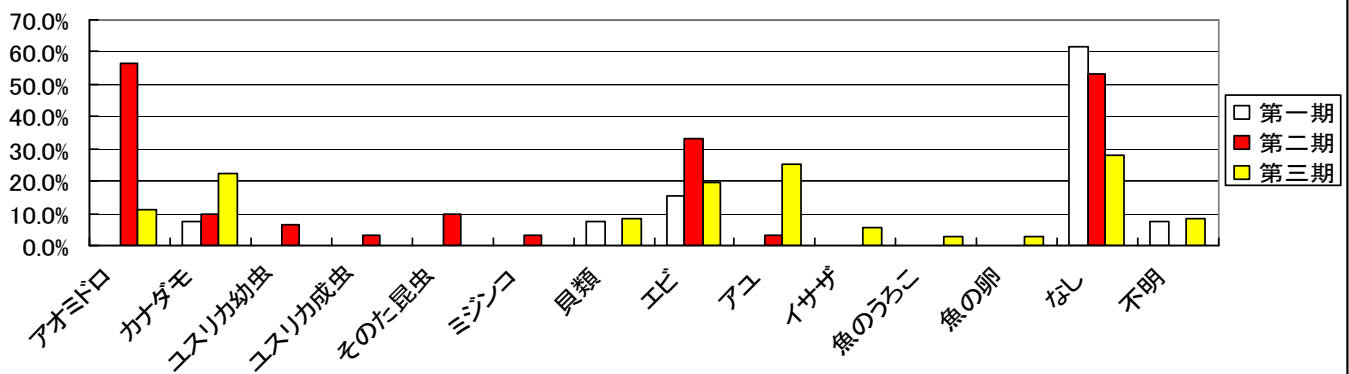
- 生育環境(流速、水温、水深など)、生息地域(南湖、北湖)、季節、年齢、性差、捕獲方法(釣り、定置網 (エリ))

これらによる食性の違いや移り変わりを明らかにする。
→今年度は、これら調査方法の確立を目標とした。



	第1期	第2期	第3期
調査期間	7/8、7/15、7/16	7/22～7/26	10/7、10/21、11/24
調査地点	瀬田川、総門川河口、赤野井湾	瀬田川、総門川河口、大津港、におの浜、木浜	大津港、木浜
全長/体長/体高/体重	全個体測定	全個体測定	全個体測定
生殖腺重量、胃内容物重量	半数の個体を抽出して測定。	全個体測定、雌雄の判別に生殖腺を染色。	全個体測定、雌雄の判別に生殖腺を染色。
胃内容物の判定	シャーレに入れて目視にて確認。	シャーレに入れて生理食塩水で展開して目視にて確認。一部は双眼実体顕微鏡で観察。	シャーレに入れて生理食塩水で展開し、すべて双眼実体顕微鏡で観察。
年齢の推定	数個体から耳石を取り出したのみ。	数個体から耳石を取り出したのみ。	数個体から耳石を取り出したのみ。

エリで捕獲されたブルーギルの胃の内容物の移り変わり



これからの課題

- 耳石による年齢の推定方法を確立、ブラックバスからの耳石の取り出し方法の確立。
- 全長/体長/体高をスピーディーに測定→検寸台を作成する。
- 胃の内容物の判定精度向上→デジタル双眼実体顕微鏡を使いこなす。
- 調査項目ごとに調査結果を考察→データを蓄積させていく。